

第 681 回 新潟放送番組審議会 議事録

— 議題 —

「ゆうなびスペシャル むすぶ S A K E」

放送日時

2022 年 8 月 13 日(日)

16：00～17：00 放送

令和 4 年 10 月 27 日

BSn新潟放送

第681回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 令和4年10月27日(木)午前11:00~

2. 開催場所 6F 会議室

3. 委員の出席

○委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長 古賀 豊	委員 石坂 智恵美
委員 佐野 哲郎	委員 馬場 幸夫
委員 大橋 未来子	

○審議番組事前レポート提出者

副委員長 佐藤 元	委員 渡邊 信子
委員 広川 和義	委員 三井田 由香

○放送事業者側出席者

専務取締役 島田 好久	メディア本部長 五十嵐 幹史
編成局長 井上 智美	情報センター長 小湊 潤

<説明員> 情報センター ディレクター 高橋 紗子

事務局 金山 英功(編成局テレビ編成部部長)

4. 議題

1 報告事項 「青少年に見てもらいたい番組」と番組種別公表制度に基づく
「放送番組種別と種別毎の放送時間」の報告

(2022年4月～2022年9月)

令和4年11月の番組について(各担当)

2 審議事項 「ゆうなびスペシャル むすぶSAKE」

(放送日時:2022年8月13日(土) 16:00～17:00 放送)

5. 議事の概要

島田専務のあいさつの後、各担当からの報告事項の報告に続いて、
テレビ番組「ゆうなびスペシャル むすぶSAKE」について審議が行われた。

～番組審議委員の主な意見～

- 今後の日本酒業界に期待を抱かせる内容だった。
- 日本酒離れは良くわかったが、他（のアルコール）は？それらの比率がわかれれば日本酒の現状がよく分かったと思う。
- ゲストが若い方で若者向けの番組。酒に貢献してきた我々世代が出てないのは残念。
- 日本酒に合う食という視点でしか、酒をPRする方法を思いつかないが、若者視点による日本酒×ゲーム、アイドル、イベントとPRの仕方に感心したし、日本酒の可能性を感じた。
- 固定観念に縛られている日本酒のハードルを如何に下げるか？大変面白い企画だった。内容のわりに「ゆうなびスペシャル」というタイトルが重く、視聴につながらなかつたのでは？
- 日本酒の輸出が好調なのは嬉しい限りだが、足元の新潟県民が魅力を理解しなければ。次世代に日本酒という文化を繋ぎたいと思うし、それが感じられる番組内容だった。
- 取材対象となった酒蔵は小規模なところばかりだったが、県内の大手も大手なりの悩みを抱え様々な取り組みを行っている。1社くらい取材しても良かったのでは。
- 出演者がお酒を試飲するにつれ赤ら顔になり、ほんのり酔っていく様子はそれはそれで面白かったが、視聴者の中にはギャップを感じた方もいたのでは？

～新潟放送 情報センター ディレクター 高橋紘子より～

様々なご意見ありがとうございました。ゆうなびのコーナー「ど~いん新潟+」で様々な地域課題を取り上げる中で、特番ではゲスト（起業家・経営者）と視聴者が一緒になって地域を考える仕掛けを練りました。これだけ日本酒のことを真剣に語り合える風土そのものが新潟のおもしろいところであり、他地域にはない特色だと感じます。
伝統文化を未来へつなげるイノベーションの芽をどう育てていくか—、みんなで語り合い、考える共創の場を引き続きつくっていきたいと思っています。番組内で提案された内容は「ど~いん新潟+」で追っていきます。

【文責・番組審議会事務局】